

ナミビア

1. ナミビア概観

- (1) 1990年の独立以来、良い統治を推進。現政権は、汚職撲滅、国営企業改革、土地再配分問題で取組強化。腐敗認知度指数はアフリカ6位(世界61位)。
- (2) 自由主義的経済運営に注力。安定した経済成長を実現(独立以降、年平均4.3%の経済成長)。外国投資法(投資許可段階の内国民待遇、送金の自由等)、輸出加工特区法(製造業に対する法人税の恒久的免除等)等を制定。
→ ナミビア政府ハイレベル(大統領、首相等)も日本企業のビジネス環境改善に積極的かつ協力的。問題点があるのであれば、政府として真剣に解決に取り組む姿勢。
- (3) ウラン(生産量世界4位)、ダイヤモンド(生産量世界8位)、天然ガス、亜鉛、石炭、金、セメント等豊富な鉱物資源が存在。各国企業が進出中(別添資料参照)。
- (4) 世界有数の漁礁であり、対日輸出の8割以上がカニ、エビ等の水産物。牧畜も盛ん。
- (5) 昨今、ナミブ砂漠、エトーシャ国立公園などの観光地に海外旅行客が急増中。(2003年～2007年の間、ドイツ人が4万人から8万人、イギリス人が1万人から2万8千人に増加)

2. ナミビア政府の日本への期待

09年10月、小澤大使信任状奉呈式の際に、三井物産・三菱商事・住友商事・双日・日立・コマツ各社の南ア支店長クラスを交えた官民合同ミッションを実施。大統領、首相、鉱山エネルギー大臣、公共事業大臣等と意見交換を実施。

(1) 鉱物資源

●既に主立った鉱区は深鉱・開発が進んでいるが、今後はJOGMECボツワナ・リモートセンシングセンターによる協力や、インフラ開発を通じた関係強化等により、残る権益を確保することが課題。

－大統領

「鉱物資源やガス田開発における日本企業の参入の可能性に注目している。」

－鉱山エネルギー大臣

「探鉱モラトリウムを継続中であるため、日本企業がウラン開発に参入したい場合は既に探鉱を進めているジュニア企業と独自に交渉することが手取り早い。開発中の鉱山に資本参画するの一案」

(2) インフラ整備

- 資源が豊富な内陸部(ボツワナ、ザンビア、ジンバブエ)への物流強化による地域開発。
 - ーウォルビス・ベイ(南部アフリカ有数の大西洋岸に面する天然の良港)の拡張計画
 - ← 我が国の対応
 - ウォルビス・ベイ港コンテナターミナル開発事業準備調査(2008～ 2009):ボーリング調査、波高調査、需要予測等を終了
 - ーボツワナやジンバブエへの鉄道敷設・道路等PPPを推進
 - ← 我が国の対応
 - ルンドゥ・エルンドゥ間道路改善計画(2006年度):総延長370Kmを舗装工事中。2011年完工を目指している(有償:100.9億円)
- 電力開発(電力不足解消をめざし日本企業とのPPPに期待。)
 - ← 我が国の対応
 - 太陽光発電を中心とした再生エネルギー分野に対する支援の可能性追求(環境プログラム無償等)。

(3) その他

- 農水産品の輸出促進のみならず養殖事業への投資等を期待。
- ナミビア開発銀行とJBIC(当時)の「日本とナミビアの経済交流の発展に向けた協力に関する覚書」に基づき、業務プロセス等に関して情報交換を実施。

ナミビア資源確保に向けた外国企業の動向

ウラン (U3O8)

●**Rössing Uranium**(Rio Tinto[英・豪]69%/ イラン政府15%/ IDC[南ア]10%/ ナミビア政府3%)
生産量: 3,046トン (2007)
所在地: Arandis

●**Langer Heinrich** (Paladin Energy Ltd[豪] 100%)
生産量: 348トン (2007)
所在地: Walvis Bay東80km

◇**Areva** [仏]がTrekopje鉱山の採掘権を獲得。中国原発公社が同鉱山の35%のウラン購入契約に締結(2008)。2010年末に生産開始予定。

◇**Forsys Metal Corp** [加]がValencia鉱山の採掘権を獲得。2010年中に生産開始予定。韓国電力公社と協力関係締結。

◇**Bannerman** [豪]によるGoanikontesプロジェクトで、2012年度に生産開始予定。

銅 ●**Weatherly International PLC** (RAB Capital[英]22.4%、Matterhorn[英]17.6%、Directors11.6%、Bank Windhoek[ナミビア]8.4%)
景気後退で生産を停止していたが、East China Mineral Exploration and Development Bureau [中]が50.1%の株式を取得し生産再開予定 (2009.9)

セメント

◇**Ohorongo Cement Project**が独のセメントメーカー Schwenk により始動。European Investment Bankなどが融資。2010年生産開始予定。

金

●**Navachab** (AngloGold Ashanti [南ア]100%)
生産量: 8万オンス (2,496kg) (2007)

◇**TEAL Exploration and Mining** [加]がOtjikotoでプロジェクトを開始。

ダイヤモンド

●**Namdeb** (ナミビア政府50%/ De Beers [南ア]50%)
生産量: 218万カラット (2007)
所在地: Elizabeth Bay

●**De Beers Marine** (De Beers[南ア]70%/ Namdeb30%)
生産量: 105万カラット (2007)

●**Sakawe Mining Corporation** (Samicor [ナミビア]76%/ Long Life Mining [イスラエル]10%/ ナミビア政府8%)
生産量: 15万カラット (2007)

石炭

◇**Kobus Smit** [南ア]ほか採掘権を獲得。Falcon Investment [ナミビア]と Sekunjalo Investment [南ア]がボツワナの炭鉱からアラノス経由でルードリッツまでの鉄道建設を計画中。

亜鉛・鉛

●**Skorpion Zinc** (Anglo American[南ア・英] 100%)
生産量: 亜鉛15万トン (2007)

●**Rosh Pinah Zinc Corp** (Exxaro Resources [南ア] 89.5%)
生産量: 亜鉛9万5千トン (2007)、鉛2万2千トン (2007)

(※) ●: 生産開始済み ◇: 未生産、計画中

